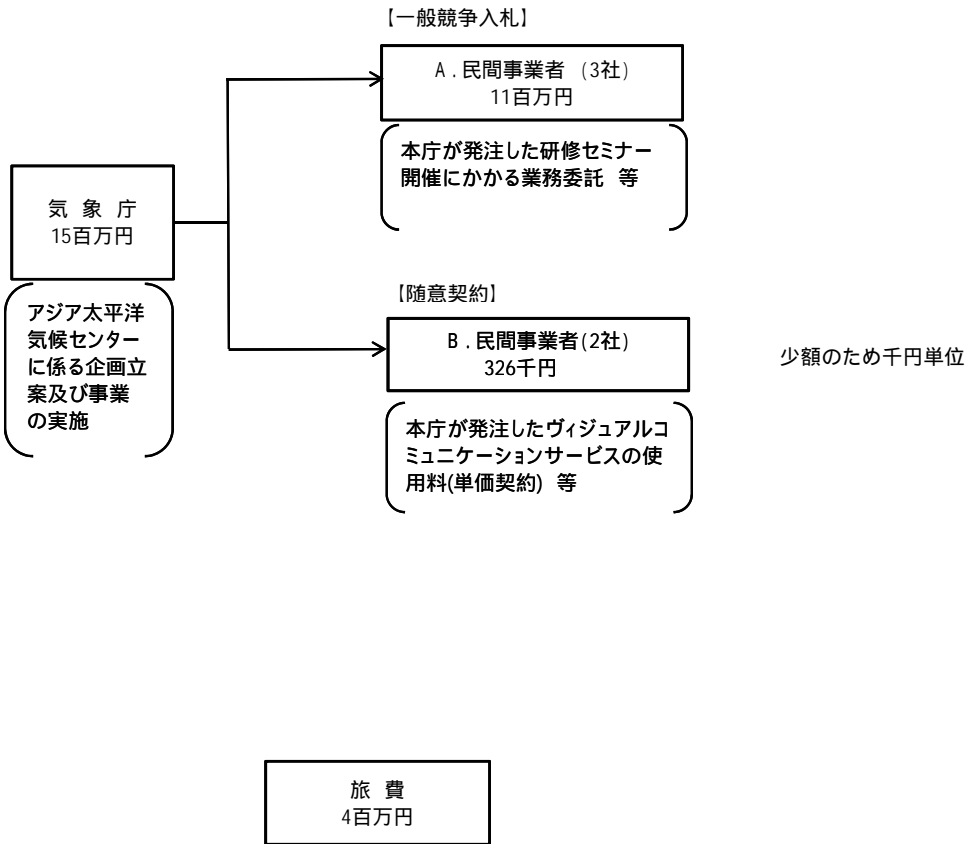


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	アジア太平洋気候センター		<b>担当部局</b>	気象庁地球環境・海洋部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成14年度～		<b>担当課室</b>	気候情報課		<b>課長</b>	横手嘉二	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	10 自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第11条、第36条 他)		<b>関係する計画、通知等</b>	WMO第13回総会決議8(平成11年決議) WMO第52回執行理事会決議2(平成12年決議) 気象審議会第21号答申(平成12年答申) WMO第61回執行理事会決議3(平成21年決議)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アジア太平洋地域の各国において、異常気象への対応や季節予報の活用等を通じて、社会活動における気候リスクを軽減することを目的とし、各国における気候情報提供業務を支援するため、各国気象機関に対し、異常気象等の監視、早期警戒、季節予報、地球温暖化予測等に関する情報を提供し、その活用のための技術支援を実施する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	アジア・太平洋気候センター(TCC)は、世界気象機関(WMO)によって世界で最初の地域気候センターとして指名されており、同地域の気候に関する様々な監視情報やデータを提供するとともに、季節予報モデルによる予測データを提供している。また、各国向けにカスタマイズされた資料の作成を支援するためのソフトウェアを整備するとともに、各国が適切な気候情報を作成するのに必要な技術支援や人材育成を行うために、トレーニングセミナー等を開催することにより指導を実施している。							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	19	15	16	16	11	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	19	15	16	16	11	
	執行額	19	15	15				
	執行率(%)	100.0%	100.0%	96.2%				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	予測情報や解析ツールの定期的利用国(1年間の利用が6か月以上)を年2か国以上増やす。	成果実績	か国		-	2	2	2
達成度		%		-	100	100		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	TCCウェブへのアクセス回数	活動実績 (当初見込)	回	約64万回	約92万回	約112万回 (約100万回)	(約120万回)	
	TCCウェブへのアクセス国数	活動実績 (当初見込)	か国	約140か国	約160か国	約160か国 (約160か国)	(約160か国)	
	トレーニングセミナー等の開催	活動実績 (当初見込)	回	1	1	1 (1)	(1)	
<b>単位当たりコスト</b>	13 (円/回)		算出根拠	H22執行額 / H22TCCウェブへのアクセス回数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	5	-	・外国旅費の集約化に伴う減 5百万円				
	観測予報庁費	11	11					
	計	16	11					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・H21.7 アジア太平洋気候センターが世界気象機関(WMO)の地域気候センター(RCC)として承認される。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・平成21年7月にアジア太平洋気候センター(TCC)はアジア地域におけるWMOの地域気候センター(RCC)として承認され、地域内各国への季節予報等の支援を行うこととなった。これは、我が国の科学技術分野での国際貢献のみならず、世界的な減災に対応する施策であり、今後も同センターを通じて的確な支援策を講じることは必要不可欠である。</p> <p>・平成22年度は、競争性の確保等効率的な調達方法の実施に努めた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		引き続き、競争性の確保等調達方法の改善を図るべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>・当然減による減額。</p> <p>・チームの所見を踏まえ、引き続き、競争性の確保等調達方法の改善に努める。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



A.(株)JT B			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	研修セミナー開催にかかる業務委託	5			
計		5	計		0
B.エヌ・ティ・ティ アイティ(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	ヴィジュアルコミュニケーションサービスの使用料(単価契約)	0.271			
計		0.271	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)JT B	研修セミナー開催にかかる業務委託	5	6	非公表
2	(株)マルミヤ	電子計算機ほかの購入	4	6	87.5
3	(株)アタック	トナーカートリッジほか(OKI等)の購入(単価契約)等	2	7	非公表
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エヌ・ティ・ティ アイティ(株)	ヴィジュアルコミュニケーションサービスの使用料(単価契約)	0.271	随意契約	
2	(株)JT B	研修セミナー開催にかかる旅行保険	0.055	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					